

テレワークの取組概要

企業/団体名	キャップクラウド株式会社
事業内容	・中小企業向けの クラウドソリューション事業 ・地域創生事業
設立	2014年1月6日
従業員数	58人（25年7月末時点）
所在地	東京新宿区新宿3-5-6 キュープラザ新宿三丁目
資本金	13,000,000円

●テレワーク導入目的

当社にとってテレワークは企業を継続させるための必要不可欠な戦略の一つです。現在、労働力人口が減少傾向であり、多くの中小企業にとって、「人」の確保が大きな課題となっています。在職者・求職者の方に数ある企業の中から当社で働くことを選んでもらうためには、魅力的な企業であることが必須ですが、財源が限られている中、大幅な賃金アップ・豪華な福利厚生設備の導入等は現実的ではありません。そこで、当社は「多様な働き方」を実現できるようにすることで、会社の魅力度を向上させました。経営理念である「働き方、パーソナライズ」を実現するため、画一的な働き方を脱却し、十人十色な働き方ができるようにしています。結果として、人手不足倒産が深刻な社会課題になっている現在においても、危機に直面することなく、事業を継続・発展させることができています。今後もテレワークをはじめとした柔軟な働き方を会社の基本装備に据え、業務ごとに最大限のパフォーマンスが発揮できる環境を選択できるように、体制を整えていきたいと考えています。

●テレワークの実施状況

当社は、雇用契約書で定めた業務内容を遂行できれば、テレワーク可能としています。そのため、店舗等での現地対応が必要な方はテレワークではなく、現場で働くことを基本としています（スポット的にテレワークを行うことは可能です）。また、テレワークをする・しないはあくまで業務都合で判断していますので、子育て・介護・通院の有無・勤続年数・契約形態・勤務場所等は一切問いません。

<令和7年7月時点>

- ・テレワーク対象者の割合：67%
- ・テレワーク対象者のテレワーク実施率：100%
- ・テレワーク対象者のテレワーク平均実施日数：概ね週4日以上
- ・テレワークとして可能な働き方：在宅勤務/サテライトオフィス勤務
モバイルワーク/ワーケーション/帰省勤務

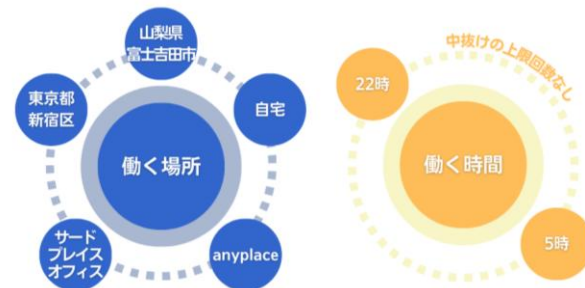
テレワーク活用による効果 導入・活用時の課題と対応策

効果①：オフィス規模の縮小による、コスト削減効果＜月額120万円→40万円へ＞

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに出勤型を選択していた多くの方がテレワークへ移行し、月120万円のオフィスを解約。現在はシェアオフィスを活用し、少人数で利用できる専有個室と、大人数で利用できる共有ラウンジを使い分け。出勤人数に応じた柔軟な運用で大幅なコスト削減を実現。

効果②：働く場所・働く時間を分散することによる、BCP対策の強化

2020年6月に「働き方選択制度」を導入したことにより、全社員は最もパフォーマンスを発揮できる働く場所（本社、自宅等）と働く時間（5時～22時、中抜け制限なし、時間有給の利用可能）を自由に選択可能に。多様な働き方を実現し、育児・介護や災害時などの緊急事態でも継続して業務を行える体制を整えた。



効果③：働き方に関する満足度アンケートにて「93.3%」が満足だと回答

テレワークをしている従業員30名へアンケートした結果、働き方満足度は93.3%であることが判明。また、回答者の40%は育児中の方で、23.3%は長期的に通院している方であり、個人の事情を考慮しながらも高い満足度で業務を継続できていることが伺える。テレワークのメリットとしては、「通勤時間の有効活用」「子どもを留守番させずに済む安心感」「集中しやすい環境」が主に挙げられた。

テレワーク導入・活用の成功要因とアドバイス

テレワーク導入・活用の成功要因とは

「ツール・制度・文化」の3つのフレームワークを意識し、一つも欠かさないことが成功要因だと考えています。テレワークを社内に導入するためには、多様な場所で業務ができるようにITツールを導入し、その時々状況に応じて複数のワークスペースから仕事環境を選べるようにし、テレワーク時の金銭的補助等を取り決めた制度を導入することが必要です。さらに、その環境下でテレワークができるように社内の文化形成も重要です。また、制度はつくって終わりではなく、社内外の状況に合わせて育てていくことも大切だと考えています。

今後の展望

少し前まで、「会社単位で、毎日同じ場所・同じ時間に集まって仕事をする」という働き方が一般的であり、テレワーク・フレックスタイムは特別なものとして扱われてきました。ですが、新型コロナウイルス感染症の大流行をきっかけに、多くの企業が自社で当たり前とされてきた働き方を見直し、より活躍できる人材を確保するために、働く場所・時間の選択肢を少しずつ社内に増やしてきたことを実感しています。多様な働き方を実現できる社会をつくることは、育児・介護・通院などの事情を抱える方が社会で活躍できる機会を増やし、フルタイムで働きながら大学院に通って学びを深めることや、副業を行なってキャリア形成に役立てることも可能とします。だからこそ、当社は一度進んだ時計の針をひと針も戻すことなく、前進させていくことを使命とし、多様な働き方を実現するためのITツール・ワークスペースの提供等を今後も行なっていきます。また、今はまだテレワークという働き方が特別視されることもありますが、膨大な紙の書類がデータに変わったように、オフィスのデスクにあった灰皿が無くなったように、PCが一人一台使用できるようになったように、「テレワーク」を当たり前の標準装備にしたいと考えています。今後も働きやすい環境づくりのため、様々な取り組みを行い、常にアップデートしながら進んでいきます。